

参加費無料

空を楽しむ防災 のススメ

2026

10/20 火

19:00 - 20:30 (開場 18:30)

会場 日本橋浜町
Fタワーホール

申し込み 事前申し込み制

申し込み方法は裏面をご覧ください

(定員 100名)

いわし雲、ひつじ雲、ずきん雲一。実は雲にはそれぞれ個性があり、その姿から天気の変化を読み取ることができるって、知っていますか？近年、豪雨や台風などの異常気象をニュースでよく聞くようになりました。防災情報を正しく理解して行動する力が、ますます重要になっています。本セミナーでは、「空」や「雲」を楽しむことを入口に、気象のしくみや防災情報の読み解き方をわかりやすく紹介します。雲の世界を知れば、毎日の空がもっと楽しくなる。日々の空を見上げることから、自分や大切な人の命を守る一歩を一緒に学びませんか。



磯部 雅彦さん

東京大学名誉教授
高知工科大学名誉教授

講演者



三上 萌々さん

株式会社セント・フォース
アナウンサー / 気象予報士

講演 1

空が楽しくなる雲のはなし
～雲から読み解く、天気を予想する方法～

最近、空を見上げていますか？ 空や雲について知ると、息をのむほど美しい景色に出合えます。そして日ごろから空を眺め気象情報を活用していると、いざという時に自分や大切な人を守る防災にもつながります。雲の仕組みや種類、天気を予想する「観天望気」についてクイズや実演を交えながら分かりやすくお話しします。



● 三上 萌々さん

株式会社セント・フォース
アナウンサー / 気象予報士 / 防災士

<略歴>

慶應義塾大学理工学部卒業。東京海上日動に入社後、資産運用部に配属。被災地応援を機にアナウンサーを志し、テレビ高知を経て現在はフリーアナウンサーとして「TBS NEWS」のニュースキャスターなどを務める。防災・減災のための執筆や講演等に取り組み、全国のJリーグクラブを巡り、サッカーと気候変動について啓発活動を行う。

講演 2

高潮のしくみと避難情報の読み方

今年5月から防災気象情報と警戒レベルが整理され、5段階に分類して情報発信されています。ただ、高潮には独特の特徴があるので注意が必要です。高潮に対する防災対策を進める中央区。この講演では、高潮の発生メカニズムをやさしく説明し、警報をどのように読み解いたらよいかをお話しします。



● 磯部 雅彦さん

東京大学名誉教授・高知工科大学名誉教授
株式会社建設技術研究所 国土文化研究所 研究顧問

<略歴>

1975年東京大学工学部土木工学科卒業。専門は海岸工学。横浜国立大学助教授、東京大学教授・副学長、高知工科大学学長などを経て、2023年から株式会社建設技術研究所国土文化研究所研究顧問。学会では土木学会会長、沿岸域学会会長を務める。また、内閣府中央防災会議の東日本大震災に関する専門委員ほか、国・地方の数多くの委員会委員長を務め、津波・高潮対策など海岸防災における二段防災の枠組みを作った。

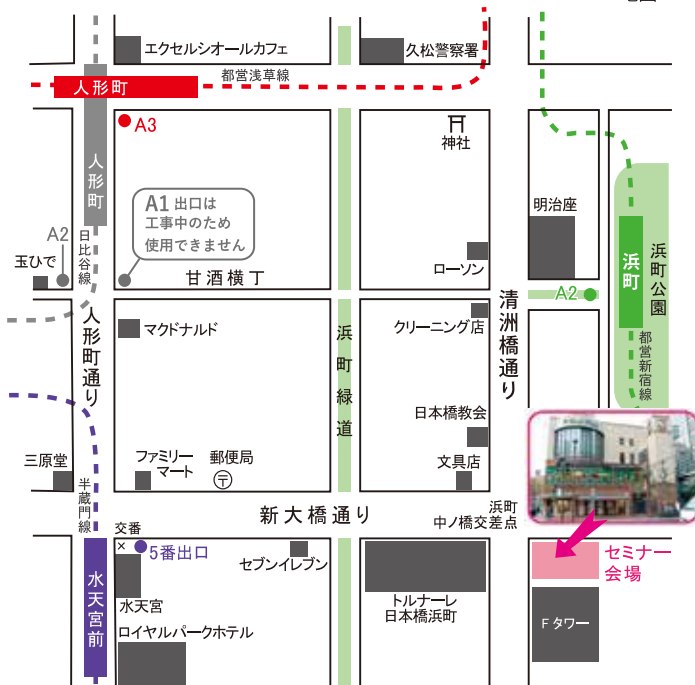
会場 日本橋浜町Fタワーホール

東京都中央区日本橋浜町 3-22-1
日本橋浜町Fタワープラザ3階

(1階に成城石井、2階にサイゼリヤがある建物です。Fタワーではありません)



地図



- 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 (5番出口) 徒歩 5分
- 都営地下鉄新宿線 浜町駅 (A2出口) 徒歩 5分
- 東京メトロ日比谷線 人形町駅 (A2出口) 徒歩 10分
- 都営地下鉄浅草線 人形町駅 (A3出口) 徒歩 10分

参加申し込み方法

会場参加のみ 定員 100名

ご参加には事前の申し込みが必要です。QRコードまたは以下のURLの申し込みフォームに必要事項をご入力ください。お申し込みは先着順です。定員に達し次第、締め切らせていただきます。



申し込みフォーム

【申し込みフォームURL】

<https://forms.cloud.microsoft/r/E48TrDy5FR>

【申し込み期限】

2026年10月13日(火)

参加の方へのお願い

当日は、記録とあわせて広報用として写真撮影や録画を行います。その写真を株式会社建設技術研究所や国土文化研究所ホームページ、広報誌、広報活動を紹介するパンフレットやプレゼンテーション資料などに掲載させていただく場合がございます。撮影にあたっては、個人情報に十分注意して行います。

問い合わせ

株式会社建設技術研究所 国土文化研究所 セミナー事務局 (担当: 和泉)

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-14-5 KDX 浜町中ノ橋ビル 2階

TEL: 03-3668-1436 (ダイヤルイン) E-mail: kokudobunka@ctie.co.jp